

第25回 英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける：

学校で・生涯学習で・文学で —

対象：中学校・高等学校英語科教員または教員志望。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：英語教育についての理解を深める

期日：平成22年8月5日（木）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3401R）

定員：80名

◆ 講義・発表内容

講義①「シニア対象の生涯学習英語：理解可能な英語(intelligibility)の獲得を目指す音声指導」

糸井 江美（文教大学）

シニアの人たちは多くは英語独特のリズムやイントネーションを身につけることを困難だと感じています。それは、聴力自体の衰え、英語の音声に触れる絶対量の不足、学校教育で受けた英語授業の影響、染みついた癖や諦めの気持ちなど、さまざまな要因によると思われます。しかし、理解可能な英語(intelligibility)を話せることの重要性を理解し、繰り返し練習することで上達がみられます。今回の講座では、理解可能な英語(intelligibility)の概念、理論を最近の研究から概観し、音声指導の具体例を取り上げます。

講義②「Three learners' types を意識した学習指導」

松岡 潤（ルクセンブルク補習授業校）

70年代より提唱されている「学習者タイプ」理論。ここでは visual, auditory, kinetic learners の3学習者タイプを意識した2つの授業実践を発表すると共に、お集まりの方々と 'captain ball' というアクティビティーを実際に体験して頂こうと思っております。

講義③「日本とイギリスの出会いとロビンソン・クルーソーの物語」

磯山 甚一（文教大学）

イギリスは幕末開国以後いつも日本の進路を示してくれるお手本であったことから、日本との間に遠い距離があるにもかかわらず、日本には最も親しみのある国のひとつです。

英文学の代表作ロビンソン・クルーソーの物語は幕末開国の頃に日本に紹介され、それ以来翻訳だけでなく、『ロビンソン漂流記』などとして子ども向けの物語にもなりました。日本とイギリスの異文化の交流の中でその物語がどのような役割を果たしてきたかを考えます。

文教大学 大学院附属 言語文化研究所 夏期講座

平成22年8月5日(木)※4講座 6日(金)※書道講座のみ

英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける:学校で・生涯学習で・文学で—

日本語教育夏期講座

— OPIの理論・応用・体験 —

中国語教育夏期講座

— 中国語学習を通じて異文化にふれる —

10:30 12:00	「シニア対象の生涯学習英語： 理解可能な英語(intelligibility)の 獲得を目指す音声指導」 糸井 江美(文教大学)	「OPIの理論と応用の可能性」 ・ 嶋田 和子(イ・ストゥイスト日本語学校)	「第二外国語としての中国語教育」 —高校生編— 舘野 由香理 (埼玉県高等学校中国語講師)
13:00 14:30	「Three learners' typesを 意識した学習指導」 松岡 潤(ルネサンス補習授業校)	「OPIの日本語授業への応用 —ロールプレイを授業に生かす—」 酒井 祥子(イ・ストゥイスト日本語学校)	「コンピューターによる 中国語の発音学習」 蔣 垂東(文教大学)
14:45 16:15	「日本とイギリスの出会いと・ ロビンソン・クルーソーの物語」 磯山 甚一(文教大学)	「体験! OPIに基づいたロールプレイ」 奥野 由紀子(横浜国立大学)	「中国人のジェスチャーと挨拶ことば —より中国語らしく表現するために—」 毛 賀力(上海海事大学)

書写書道教育夏期講座

※受講無料(但し資料代500円。書道のみ1,000円)

A・書文化コース

吉沢 義和(元文教大学文学部教授)

B・学校教育コース

豊口 和士(文教大学)

5 日 (木)	10:30 12:00	「創作(1)」 ・ 創作の手順	「新学習指導要領解説」 ・ 改訂のポイント (小中高)
	13:00 14:30	「創作(2)」 ・ 漢字の書を中心に 作品の構想を練る	「実技(1)」 ・ 基本的な用筆法・運筆法
	14:45 16:15	「創作(3)」 ・ 構想をもとに試書する	「実技(2)」 ・ 漢字(楷書)
6 日 (金)	10:30 12:00	「創作(4)」 ・ 小品(半切以下)を 仕上げる	「実技(3)」 ・ 漢字(行書)
	13:00 14:30	「講義」 ・ 書の鑑賞の態度	「実技(4)」 ・ 仮名(平仮名・片仮名) ・ 漢字仮名交じり文
	14:45 16:15		「実技(5)」 ・ 漢字(草書・隸書・篆書)



主催: 文教大学大学院附属言語文化研究所

申込締切: 平成22年7月22日(木)必着

問合わせ: (048) 974-8811

お申込み: <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>